

コバケンラボ

[応募者名] 勤務先名： Ms 建築設計事務所 / MSD 三澤文子 勤務先住所：大阪府大阪市福島区福島2丁目9-16
 連絡先(勤務先) TEL 06-6224-7820 FAX 06-6458-5090

●地域性への配慮事項

本庄市児玉町は埼玉県北西部に位置し、群馬県との県境にある。北に利根川があり、市街地は本庄駅付近に集中、駅の南方面は住宅密集地、北側には畑が広がっている。この辺りは内陸の台地である地形から、風をささげる物がなく、秋冬では西風が強い。一方で、児玉町南部方面は山麓地帯であるため、夏は山間部独特の湿度の高さがある。

そんな地域での快適な住まいは、「夏をいかに涼しく、冬をいかに暖かく暮らすことができるか。」という、日本のどの地域も掲げる同じ目標であり、その実現のために様々な試みを行った。また、この地域の山の木を使うことによって、再生可能な材料で輸送エネルギーを費やさず、山を育てる人から家を作る人を経て、家を守り育てる人まで、顔の見える関係を明確にするという「地元を活かす木造住宅のつくり方」を実践した。これらの配慮には、「家に住む人々が家を大切に維持管理し、家の寿命を延ばす住み方をしてほしい。」「地域文化を育みつづけた、素材やそれらを加工する職人の技術を途絶えさせず、さらに豊かな文化を育ててほしい。」そして「地域で住み続ける住まい手が四季を通して気持ちよく幸せに暮らしてほしい。」という願いを込めている。



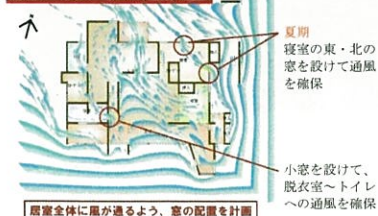
ウッドマイルズ C02
 秩父の山から材を伐り出し製材。飯能市でプレカットを行い敷地に搬入した。構造材のみのウッドマイルズ C02 は極めて少なく、全ての使用木材では、一般的な住宅と比べ木材使用量が 2.04 倍、ウッドマイルズ C02 で 0.8 倍となった

日射遮蔽



通常は遮蔽率およそ 50%
 無双網戸の連子をずらし遮蔽率を調整
 土間縁の上部 2 つのトップライトは断熱障子を開めた状態

通風シミュレーション結果(夏)



夏期 寝室の東・北の窓を設けて通風を確保
 小窓を設けて、脱衣室～トイレへの通風を確保
 居室全体に風が通るよう、窓の配置を計画



●作品の概要

- 所在地 埼玉県本庄市児玉町 (IV 地域・都市計画区域内・法 22 条地域)
- 用途 展示住宅
- 面積 建築面積：180.27 m² (54.63 坪)
 延面積：230.36 m² (69.80 坪)
 (内住宅部分 210.49 m²/63.78 坪)
 1 階 160.80 m² (48.73 坪)
 2 階 69.56 m² (21.07 坪)
 敷地面積：755.25 m² (228.86 坪)
- 施工 株式会社 小林建設
- 性能・認定
 - ・長期優良住宅認定
 - ・性能評価
 設計：耐震等級【3】・省エネ等級【4】など
 建設：取得

●作品の特徴

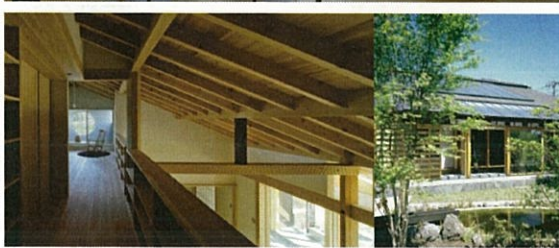
夏の暑さや、冬の風に対して、敷地内の緑化は効果がある。またこの地域らしい町並みをつくるためにも、家と庭と町が一体となった外部空間をつくった。家並みを構成する屋根の形は、太陽の恵みを活かすように南に傾斜した軒が深い大屋根で、太陽光発電と空気集熱システムが搭載されている。室内は、玄関から南側の土間縁につながる。土間縁の南開口は木製建具で広く確保、軒が深いためにトップライトを設けている。そのため冬はサンルームになり明るい。また夏は、トップライトに設置された断熱建具によって遮光され、さらには南の開口部に設置されたルーバー無双網戸による日射遮蔽で暗めの空間をつくる。建物西側は非居室を配し西日に配慮。寝室は夏に居心地のよい北東の角に。床は石敷きとした。風通しについては、シュミレーションを行い有効な窓を設け、夜間に通風により就寝できることを試みた。また屋根上に風抜きの窓を設けた。すべての内部建具は日本の住文化で誇れる木製引き戸。夏と冬の暮らしの中で、視的にも快適であるよう、しつらえを変えることを可能とした。地域の人たちが「食べること」で集まることこそ、楽しい暮らしだろう。そのために大人数が会せる空間、大きなテーブルや土間縁が活かしてくる。そして、家族のためには台所の近くにある薪ストーブを囲んだ、小さな、現代の茶の間をつくっている。



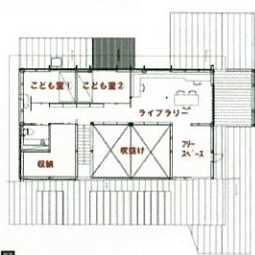
右・北にある茶の間
 中・土間縁から和室を見る
 左・土間縁が内部と外部をつなげる



台所からリビングを見る



右・2階廊下からリビングを見下ろす
 中・南西から見る外観
 左・2階廊下、大屋根の内部空間



2階平面図



1階平面図

